

山梨県 大月市（地域産材を利用した積み木セットの配布）

- 大月市では、身近にある山梨県産材の利用促進に関する具体的な取り組みの遅れが課題となっている。
- このため、令和4年度においては、森林環境譲与税を活用して山梨県産材積み木セットの製作業務を森林組合に委託し、市内の保育園2園に配付した。

□ 事業内容

積み木セットの配布

- ・ 市内保育園に、山梨県産材（市内で伐採されたヒノキ）を使用して製作した積み木セットを贈呈。
- ・ 2保育園 計60セット

【事業費】924千円（うち譲与税924千円）

【実績】木材使用量0.012m³

□ 取組の背景

- ・ 森林面積が市総面積の約87%を占める大月市では、かつては市民にとって森林が身近な存在であったが、生活様式が変容したことで、森林や無垢の木材に触れる機会が減少していた。
- ・ 大月市の人工林の約80%が9齢級以上となり、利用期を迎えているが、急峻な地形が多く、市内における素材生産は低位に留まっていた。



（積み木セット（32ピース））（森林組合による啓発）



（積み木で遊ぶ園児）

□ 工夫・留意した点

- ・ 積み木は幼児が使用するため、角を落として手触りを良くするなど、素材の香り等も含め木のぬくもりを感じられる製品とした。
- ・ 市内産間伐材（ヒノキ）を使用することで、保育士や保護者など大人に対しても地域の木材を利用することの大切さを啓発できるようにした。
- ・ 富士山周辺の森林から生産された木材を使用し、地域産木製品のブランド力を高め、幅広い受注への対応を図ることを目的に設立された組織である「富士山木製品ブランド会議」を活用したことで、積み木セットを円滑に製作することができた。

□ 取組の効果

- ・ 実際に積み木で遊んだ園児だけでなく、本取組がローカルニュース番組で取り上げられたことで、県産材を活用することの意義を県内に広くPRできた。
- ・ 積み木セットを制作したことで、市内外の林業・木材産業事業者同士の連携が強化され、素材生産から製材・加工までの体制構築の一助となった。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：30,412千円		②私有林人工林面積（※1）：4,002ha	
③林野率（※1）：86.6%	④人口（※2）：22,512人	⑤林業就業者数（※2）：64人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より